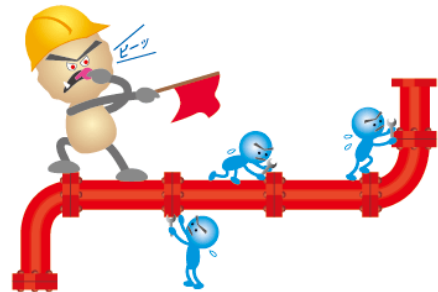


卵巣：Bmab／3wks

アバスチン（ベバシズマブ）について

アバスチンの作用

この薬は、がん細胞への栄養や酸素を供給する血管が作られないようにすることで、がん細胞の成長を妨げる薬です。またがん細胞にできた血管を整備し、抗がん剤ががん細胞まで届きやすくする作用もあります。そのため、抗がん剤と組み合わせて使用します。



アバスチンの副作用

■高血圧

アバスチンを使用し続けることで血圧が上昇することがあります。無症状のこともありますが、頭痛や吐き気を伴うこともあります。多くの場合は降圧剤でコントロールすることができます。

●対処方法

毎日血圧を測定し、以下の場合は受診して下さい。

- 安静時の血圧が最高血圧 180 mm Hg 以上、最低血圧 120 mm Hg 以上のとき
- 激しい頭痛や吐き気がするとき
- 意識がもうろうとするとき



■出血

鼻血など粘膜からの出血がみられることがあります。大体は圧迫すると止まりますが、10分経っても止まらない場合は受診して下さい。

*抜歯など出血を伴う処置を必要とするときは、医師に相談して下さい

■創傷治癒遅延

アバスチンの影響で傷が治りにくくなっています。けがをしないよう気を付けましょう。

下記のような症状が出現した場合は、アバスチンの緊急連絡カードを見ながら病院に連絡し、受診して下さい。

■消化管穿孔

ごく稀に胃や腸に穴が開くことがあります。発生時期は不明です。経験のないほどの強い腹痛や血便が見られた場合は、すぐに受診して下さい。

■血栓塞栓症

アバスチン治療中には、動脈や静脈に血のかたまり（血栓）ができたり、血栓によって血管がふさがったり（塞栓）することがあります。

◆動脈におこる血栓塞栓症：心筋梗塞、脳梗塞など

【症状】意識がもうろうとする、^{ろれつ}呂律がまわりにくくなる、麻痺が出現する、胸が痛むなど

◆静脈におこる血栓塞栓症：肺梗塞、深部静脈血栓症

【症状】息切れ、足のむくみ・しびれ・痛みなど

アバスチンの投与法

3 週間に 1 回点滴します。

点滴時間は点滴時に問題がない場合、

初回 90 分→2 回目 60 分→3 回目～30 分と徐々に短縮していきます。

アバスチン投与前後に、生理食塩注 50mL を 15 分かけて投与し、

血管を洗い流します。